

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
笑い・ユーモアとコミュニケーション		選択	2	1.2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
瀧口 綾	B305	atakiguchi	火曜日 12:10～13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>人間コミュニケーション学科のディプロマポリシーにある「豊かな人間観」と「多様性を尊重する姿勢」を育むため、多角的な視野を培い、異なる背景や視点を尊重できる、多様な自己表現・コミュニケーションの実践を体験する。</p> <p><概要>本科目は1年次に学ぶコミュニケーションの基礎を踏まえて、多様なコミュニケーションの実態を体験させて、学生の視野・視座の拡充・柔軟を促す学際的科目群である。この授業では、「笑い・ユーモア」というテーマを、社会の観点で見つめ、対人コミュニケーションを円滑にする効果がある笑いやユーモアがコミュニケーションにあつて如何なる特徴・功罪を具備しているか、様々なワークを通して体感してもらい、自分自身の情緒と感性を豊かにさせ、社会実装への展開を考察していく。</p> <p><概要>対人コミュニケーションについて基本的な知識や技法の理解を深めるために、ワークシートやグループワーク等の演習を行う。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	対人コミュニケーションをより良好に保つために笑いやユーモアを学ぶ授業であることを理解し、積極的に授業に参加して欲しい。				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じてプリントを配布する。				
参考書	笑いとユーモアの心理学/著:雨宮俊彦/ミネルヴァ書房				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	一人一人を尊重し、多様な人間関係について理解し、説明できる。		HSU(1)、(2)、(3)		
②	コミュニケーションの基本的な概念や理論について理解し、説明できる。		HSU(1)、(2)、(5)		
③	笑いやユーモアについて理解し良好な対人関係に必要なコミュニケーション力を身につけることができる。		HC(1)、(6)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーションを行う。 笑い・ユーモアの概要について学ぶ。	講義	授業内容の復習を行う。		2
2	笑いの分類について学ぶ。	講義・演習	授業を振り返り授業後にリアクションペーパーを提出する。		4
3	言語的ユーモアとコミュニケーションについて学ぶ。	講義・演習	授業を振り返り授業後にリアクションペーパーを提出する。		4
4	笑い・ユーモアの感情としての多面性について学ぶ。	講義・演習	授業を振り返り授業後にリアクションペーパーを提出する。		4
5	笑い・ユーモアの健康的効果について学ぶ①	講義・演習	授業を振り返り授業後にリアクションペーパーを提出する。		4
6	笑い・ユーモアの健康的効果について学ぶ②	講義・演習	授業を振り返り授業後にリアクションペーパーを提出する。		4
7	対人コミュニケーションにおける笑いのメリット・デメリットについて学ぶ。	講義・演習	授業を振り返り授業後にリアクションペーパーを提出する。		4
8	対人関係における笑い・ユーモアの役割について学ぶ①	講義・演習	授業を振り返り授業後にリアクションペーパーを提出する。		4
9	対人関係における笑い・ユーモアの役割について学ぶ②	講義・演習	授業を振り返り授業後にリアクションペーパーを提出する。		4
10	対人関係における笑い・ユーモアの役割について学ぶ③	講義・演習	授業を振り返り授業後にリアクションペーパーを提出する。		4
11	対人関係における笑い・ユーモアの役割について学ぶ④	講義・演習	授業を振り返り授業後にリアクションペーパーを提出する。		4
12	笑い・ユーモアと非言語的コミュニケーションについて学ぶ①	講義・演習	授業を振り返り授業後にリアクションペーパーを提出する。		4
13	笑い・ユーモアと非言語的コミュニケーションについて学ぶ②	講義・演習	授業を振り返り授業後にリアクションペーパーを提出する。		4

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

14	笑い・ユーモアとコミュニケーションの文化的な違いについて学ぶ。	講義・演習	授業を振り返り授業後にリアクションペーパーを提出する。	4
15	総括を行う。	講義	これまでの授業内容を振り返り各自整理する。	6
試	レポート試験 達成度評価・評価のポイントを参照			

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	60	0	0	0	40
総合力指標	知識・技術力	0	20	0	0	5	25
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	10	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	5	5
	コミュニケーション力	0	0	0	0	5	5
	取組みの姿勢・意欲	0	20	0	0	10	30
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10

評価のポイント				評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標				
試験	①				
	②				
	③				
レポート	①	✓	レポートのテーマは授業中に発表する。評価は、内容（聞かれたことに答えているか、自分の意見を述べているか）、文章の構成、誤字・脱字等で行う。	提出されたレポートは全体の総評を行う。	
	②	✓			
	③	✓			
	④				
	⑤				
成果発表	①				
	②				
	③				
ポートフォリオ	①				
	②				
	③				
その他	①	✓	毎回授業の終わりにアクションレポートの提出を求める。理解したこと、疑問に感じたこと及び自分の考えなどについて記述する。	次回の講義の初めに、全体に向けて前回のアクションレポートについてコメントし解説する。	
	②	✓			
	③	✓			
	④				
	⑤				

備 考

他 担 当 教 員	なし
教 員 の 実 務 経 験	臨床心理士及び公認心理師として 24 年の臨床経験を有する。
実 践 的 授 業 の 内 容	専門性と現場経験を活かして、笑いやユーモアとコミュニケーションに関する基本的知識を分かりやすく教授する。
そ の 他	生成 AI (ChatGPT 等) を使用した課題作成は認めない。発見した場合は、評価を減じる。 大学が公表している感染症対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めない。 なお、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。